第107号
令和６年11月

弓削商船だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地 TEL 0897-77-4617 FAX 0897-77-4680
企画広報室 情報・広報係 ホームページアドレス https://www.yuge.ac.jp

令和６年度商船学科卒業式・専攻科（海上輸送システム工学専攻）修了式

目次

練習船「弓削丸」竣工記念行事・お披露目会 …… 1
株式会社NTTドコモと練習船「弓削丸」を利用した災害対策訓練を実施 …… 1
体験航海「一日船長」を実施 …… 2
尾道COOL CHOICEプロジェクト「海事教室」を実施 …… 2
令和６年度入学式 …… 3
令和６年度　前期級長・副級長・学級担任一覧 …… 3
新任教員の紹介 …… 4
学生会よりごあいさつ …… 4
クラブ活動成績，令和５年度「特別賞」表彰者 …… 5
学生体験談（柔道部） …… 5
（バドミントン部，電子工作について） …… 6
国立モンゴル科学技術大学での海外インターンシップ・国際交流2024 …… 7
留学生紹介 …… 8
LEADING EDGE四国において２チームが採択 …… 9
Ｓ５乗船実習 …… 10
令和６年度商船学科卒業式・専攻科（海上輸送システム工学専攻）修了式 …… 11
令和６年度商船学科卒業生　各賞受賞者一覧 …… 11
令和６年度商船学科卒業生，AM修了生　就職・進学先一覧 …… 12
令和６年度専攻科（海上輸送システム工学専攻）入学式 …… 12
令和５年度M科・Ｉ科卒業生，AP修了生　就職・進学先一覧 …… 13
本田技研工業株式会社「次世代エンジニア育成支援講座」を開催 …… 13
「瀬戸内国際ヨットラリー 2024」弓削島で参加者との交流を実施 …… 14
公開講座「第１回バスケットボール教室」を開催 …… 14
各種試験合格者一覧 …… 14
各種行事等のアルバム …… 15
学生相談室からのお知らせ …… 15

練習船「弓削丸」竣工記念行事

３月23日(土)，練習船「弓削丸」竣工記念行事を挙行しました。記念行事には，盛山正仁文部科学大臣，山本順三参議院議員，赤池誠章参議院議員，梶原大介参議院議員，上村俊之上島町長をはじめ多数の来賓に出席いただき，本校関係者ら約160名が出席しました。

記念式典では，まず石田邦光校長が「本校の練習船は，海洋立国を支える海事人材の育成と災害支援に活躍できる練習船として期待をされております。本日竣工を迎えました弓削丸は，船舶と学校を結ぶ最新の船陸間通信装置，ダイバーシティに配慮した設備，災害時の支援を可能にする設備等を有しておりますので，これらの優れた機能を活かし，皆様からのご期待に応えると共に，今まで以上に優れた海事人材の育成，災害対応，地域貢献に邁進する所存でございます」と式辞を述べた後，盛山大臣，赤池議員，梶原議員から祝辞をいただき，最後に谷口功高専機構理事長から謝辞が述べられました。

式典後には，来賓各位によるテープカットが行われ，その後，「弓削丸」の機能や設備を紹介する内覧会が行われました。

内覧会後には福山（広島県）へ移動し，記念祝賀会が行われ，「弓削丸」の竣工を祝う盛大な記念行事となりました。

※式典実施時の職名・役職名を記載しています。

練習船「弓削丸」お披露目会

３月24日(日)，練習船「弓削丸」お披露目会を開催しました。

お披露目会は上島町消防本部，株式会社NTTドコモ四国支社ネットワーク部災害対策室の協力を得て，一般公開（船内見学）を中心に防災設備展示，乗船クルーズなどを企画しておりましたが，残念ながら悪天候のため乗船クルーズは中止となりました。

そのような中でも，近隣の方々や弓削商船高専の同窓生など，大人461名，子ども108名の合計569名の方に来場いただき，盛大に「弓削丸」をお披露目することができました。

株式会社NTTドコモと練習船「弓削丸」を利用した災害対策訓練を実施

７月19日(金)，本校桟橋において，株式会社NTTドコモと練習船「弓削丸」を利用した災害対策訓練を実施しました。

この訓練は令和４年度締結した【練習船「弓削丸」及び実習船「はまかぜ」の災害支援利用推進に関する連携協定】に基づき，定期的に実施するもので，災害対策を想定した各種訓練を行うことにより，相互の円滑な連携を図ることを目的としています。

昨年度実施した訓練では実習船「はまかぜ」を利用しており，今回は新弓削丸を利用して実施する初めての訓練であるため，資機材を搬入するために必要な工程を検討し，積載箇所を確認するなど，訓練前にしっかりと時間を使い準備をしました。

当日は酷暑でしたが，体調に配慮しながら訓練を実施し，無事に終えることができました。

今後も訓練等を通じて，連携強化に努めていきます。

体験航海「一日船長」を実施

７月27日(土)，28日(日)の２日間，今回で17回目となる体験航海「一日船長」を愛媛県松山市で実施しました。873名の応募の中から抽選で選ばれた一般の参加者214名と海洋少年団86名の計300名が，体験航海に参加しました。本イベントでは一便当たり60名ほど乗船し，２日で５便の運航を行いました。

参加者は，スタンプラリーを行いながら，ブリッジで舵を取って操船したり，デッキから望遠鏡で遠くの島や船を眺めたり，また制服を着て記念撮影をするなど，それぞれ思い思いに約１時間の船旅を楽しみました。

恒例となった海洋少年団の「ありがとう」の手旗信号が披露されると，本校の学生からも「また来てね」と手旗信号で合図を返しました。

参加者からは「大きな船を操縦できて嬉しかった」，「エンジンがとても大きくてびっくりした」，「船の中をたくさん探検できてよかった」，「普段見ることのできない場所を見ることができてよかった。学生の方に優しく接していただき，楽しく参加できた」等の感想が寄せられ好評でした。また，「弓削丸」による体験航海を通じて地域に対しても大いに貢献できました。

尾道COOL CHOICEプロジェクト「海事教室」を実施

９月11日(水)，12日(木)に，尾道市西御所岸壁において，「尾道COOL CHOICEプロジェクト」推進事業の一環として「海事教室」を開催しました。本事業は，令和２年度からスタートして本年で５年目となり，令和６年３月に就航した新弓削丸による初めての開催となります。

本校から商船学科及び電子機械工学科の教職員等が講師として，尾道市内の計３校96名の次世代を担う小学生に対して，「海洋プラスチック汚染問題等の環境課題や，私たちの豊かな生活を支える海運について学び，海と船への関心と理解を深めること」を目的として，「環境学習」，「ものづくり体験」，「ロープワーク」及び「弓削丸体験航海」を実施しました。

「環境学習」では，マイクロプラスチックによる環境問題やブルーカーボンについて取り上げ，海洋環境を守る大切さなどを学びました。また，弓削丸に装備しているマイクロプラスチック回収装置で採取したマイクロプラスチックを観察し，海洋環境について身近に考えてもらう機会となりました。

「ものづくり体験」では，児童が製品の元になるボルトやナット，歯車の仕組みなど実際の部品に触れながら学習しました。日本のものづくりを支える技術者について理解を深め，児童たちは興味津々の様子でした。

「ロープワーク」では，基本的な結び方や高度で強固な結び方を練習しました。身近な結び方として靴紐等で利用する蝶々結びの構造や，間違いやすい縦結びとの違いについて学び，「おうちに帰って両親に自慢するんだ」と喜んでいました。

「弓削丸体験航海」では，西御所岸壁から尾道水道西側に向けて約１時間の航海を実施しました。児童たちは新しい船内を自由に散策し，操舵体験や双眼鏡を使って海からの景色を見学するなど，「普段知ることができないことを学んだ」と喜んでいました。

先代の弓削丸に比べて大きくなった船内で，児童たちは環境学習や体験学習を行い，楽しい一日を過ごしました。

本年度のイベントは中国新聞や尾道新聞そして毎日新聞に掲載されました。また，尾道市内の広報誌「広報おのみち」にも掲載され，尾道市内に本事業の魅力を周知することができました。

令和６年度入学式

４月５日(金)，令和６年度入学式を挙行し，本科生121名，留学生２名，専攻科生10名の計133名の学生が入学しました。

式ではまず，入学許可が行われ，本科入学生及び専攻科入学生による入学宣誓がありました。その後，内田誠校長から「高等専門学校は大学や大学院などと同じ高等教育機関であり生徒ではなく学生となることを意識して，自ら学問を修める能動的な学び，学を修める学修に取り組んでください。また困難に直面したときには，弓削商船高専の教員，職員，施設，設備を遠慮せずに頼り，困難を乗り越える，時には回避する経験を積んで大きく成長してください」と式辞が述べられました。また，来賓の上村俊之上島町長から御祝辞をいただき，入学生は少し緊張した表情で聞き入っていました。

最後に，在校生を代表して，商船学科４年の今井銀さんが歓迎の言葉を述べた後，入学生を代表して情報工学科の津田悠晴さんが力強い答辞を述べました。

多数の来賓，教職員そして保護者に見守られながら，春の陽気に身を包まれた入学生の弓削商船高専での新たな生活が始まりました。

令和６年度　前期級長・副級長・学級担任一覧

学　　科	学年	級　　長	副 級 長	担　　任
商船学科	５年	野　田　航士朗	後　藤　大　夢	秋　葉　貞　洋
電子機械工学科	５年	坂　本　潤　治	山　本　音　桜	森　　耕太郎
情報工学科	５年	林　田　大　樹	小　林　大　聖	桝　田　温　子
商船学科	４年	天　野　公　平	本　田　祐　大	松　内　美　緒
電子機械工学科	４年	神　原　理　玖	長谷川　敬　悟	長　井　弘　志
情報工学科	４年	森　井　裕　騎	岩　本　隼　人	峯　脇　さやか
商船学科	３年	大　部　和　香	水　野　さくら	池　田　真　吾
電子機械工学科	３年	松　本　大　和	桃　田　　訊	夛　田　博　範
情報工学科	３年	五　所　杏　太	石　橋　治　樹	梅　木　　陽
商船学科	２年	庭　瀬　　葵	湯　浅　奏　音	牧　山　隆　洋
電子機械工学科	２年	生　谷　う　み	越　智　彪　雅	要　　弥由美
情報工学科	２年	井　上　勇　瑠	田名後　琳　夢	本　間　孝　拓
商船学科	１年	西　山　珈　惟	郷　頭　悠　翔	湯　田　紀　男
電子機械工学科	１年	松　本　直　也	杠　　航太朗	日　下　佳　春
情報工学科	１年	福　田　煌　輝	宮　﨑　心　麻	八　原　瑠　里

新任教員の紹介

総合教育科　助教　濱田　活仁

皆さま，こんにちは。私は本校に新たに着任しました，英語科を担当しております濱田活仁（はまだ かつひと）です。高専での教職は初めての経験であり，新たな挑戦に胸を躍らせています。学生の皆さんと共に英語力を高め，将来に向けてのスキルを育むことができるよう，精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて，上述した挨拶文は，氏名を除き，全てテキストベース型の生成AI（ChatGPT 4o mini 無料版）が産出した文章になります。本校に着任した新任教員であること，英語科を担当していること，高専には初めて関わることなど，いくつかの情報を加えて指示するだけで，生成AIは一見して自然な文章を即座に提示してくれます。すでに本校の学生も頻繁に利活用しているように，生成AIは私たちの身近に広く浸透しており，今後はこうしたツールを批判的に活用しながら，よりよく自身の力を高めていくことができるかどうかが重要な課題となっています。

では，生成AIが産出した文章は，修正を必要としない完璧な文章であると言えるでしょうか。上述した挨拶文，一見すると綺麗な文章ではありますが，多くが抽象的な表現で構成されており，やや無機質に感じてしまいます。例えば，私の心情として「新たな挑戦」に胸を躍らせていることは間違いありませんが，より文脈に合わせて「小学校や中学校での学びを踏まえた発展的で，かつ各学科の特性に合わせた専門的な英語科授業を通して，学生の皆さんと言葉の学びを探求できること」へと文言を修正することで，より解像度の高い豊かな文章になります。

このように，生成AIが産出した抽象的な文章を，自身の置かれた場面や状況等を踏まえて具体的に修正する力もまた，今を生きる私たちに必要な力の１つであると考えられます。そして，こうした力は日本語に限らず，外国語である英語を扱う際に，より一層重要となります。ぜひ英語科授業などを通して共に育んで参りましょう。

学生会よりごあいさつ

商船学科　３年　水野さくら

学生会より本年度の挨拶を申し上げます。

私たち令和６年度学生会は商船学科６名，電子機械工学科２名，情報工学科２名の計10名で構成されています。昨年度より，学生会の任期が後期からの１年間になり，現在の学生会は発足したばかりとなっています。ですが，例年よりも役員の人数を増やし，それぞれのスキルを発揮したり，学生の声を聴いたりする機会を多くして，より「学生主体」で学校生活を送れるように，学生会の運営を行っています。

今回の学生会では，「学生主体で学生全員が充実でき，規律のある弓削商船高専」を目標に活動していきたいと考えており，この目標をもとに主に３つのことに力を入れていきます。

１つ目は，12月に開催予定の後期球技大会の運営です。学生の皆さんが参加される種目やルールに皆さんの意見や要望を積極的に取り入れて，参加した全員が楽しめるような球技大会を作っていきたいです。

２つ目は，身だしなみや登校時の交通ルールへの呼びかけです。規律のある弓削商船高専にするためには，学生一人ひとりの模範的行動への意識が大切となります。実際に現在，毎週水曜日と金曜日に，正門や裏門に立ち，登校してくる学生に交通ルールや挨拶を行うことなどを呼びかける「あいさつ運動」を実施しています。

３つ目は，校則の見直しです。現在の校則への改善してほしいこと等，学生の皆さんからの意見を募集し，学生総会で新たな校則を作っていきたいと思います。

最後になりますが，学生会の運営および上記目標の達成には，教職員ならびに学生の皆さんのご協力が不可欠となります。１年間ご協力よろしくお願いいたします。学生会一同，弓削商船高専がより良い学校になるよう，最善を尽くします。

クラブ活動成績

部活動名	大会名	競技	成績	クラス	氏名（個人の場合）	場所	日程
アーチェリー	令和６年度 愛媛県高等学校 総合体育大会	男子個人の部	第３位	Ｓ３	村上　銀亮	今治市菊間町 あばらこ アーチェリー場	６月２日㈰
陸上競技部	第61回 四国地区 高等専門学校 体育大会	男子110mH	優　勝	Ｉ５	小林　大聖	西条市 ひうち陸上競技場	７月13日㈯ 14日㈰
		女子走幅跳	優　勝	Ｉ５	田房　真歩		
		女子砲丸投	優　勝	Ｓ３	水野さくら		
		男子走幅跳	第３位	Ｓ２	森　旬輝		
		男子走高跳	優　勝	Ｓ１	武田　空大		
剣道部		男子団体の部	準優勝			高知県立武道館	７月６日㈯ ７日㈰
		女子団体の部	準優勝				
		女子個人の部	優　勝	Ｓ４	竹村　心		
			第３位	Ｉ３	藤原　歩華		
柔道部		女子63kg級	優　勝	Ｉ１	井上　結子	香川高等専門学校 高松キャンパス 武道場	６月29日㈯
水泳部		男子100m平泳ぎ	第３位	Ｓ２	板橋　大地	香川高等専門学校 詫間キャンパス 水泳プール	７月６日㈯ ７日㈰
		女子100m平泳ぎ	第３位	Ｓ２	高原　千暖		
		男子100m自由形	第２位	Ｓ１	森田　夏生		
		男子 50m自由形	第３位				
卓球部		女子団体の部	準優勝			ＹＧＫドーム （北島北公園総合体育館）	７月５日㈮ ～７日㈰
陸上競技部		陸上競技	2023年度 四国地区 高等専門学校 体育協議会 表彰	Ｉ５	田房　真歩		

令和５年度「特別賞」表彰者（R６.４.４表彰）

クラス	氏名	表彰理由
Ｉ２	平松夏々翔	第８回全国小中学生プログラミング大会 第２回全国高等学校プログラミング大会　高等学校部門　優秀賞

学生体験談

柔道部　情報工学科　３年　鮫島　凜織

柔道部は，初心者から経験者まで少数精鋭のメンバーで活動しています。部員は限られた人数ですが，その分一人ひとりが高い目標を持ち，技術の向上，日々の練習に励んでいます。

練習では，基本の技から応用まで幅広く取り組んでおり，技術だけでなく体力や精神力の向上も図っています。少人数のため，互いに細かい指摘やアドバイスを行いながら，全員で成長していける雰囲気が特徴です。

今年度は，全国高専大会において女子学生が見事準優勝という大きな結果を残しました。大会当日は緊張しつつも，自分の力を存分に発揮し，素晴らしい試合を展開しました。準決勝では，これまでの練習の成果を見せつけるような素晴らしい技を決め，決勝戦でも最後まであきらめずに戦い抜きました。この結果は，彼女自身の努力の賜物であると同時に，日々の努力の積み重ねと部員同士の協力が結実したものであり，私たちにとって大きな誇りです。次の大会へのモチベーションもさらに高まっています。

今後も柔道部は，全員が目指す目標に向かって，一丸となって取り組んでいきます。練習では，個々の成長を大切にしながら，さらなる飛躍を目指し，次の大会に向けて，仲間と共にこれからも努めていきます。

全国高専大会にて準優勝したＩ１井上結子さん

学　生　体　験　談

バドミントン部

情報工学科　２年　**森　諒菜**

バドミントン部は，バドミントンにおける技術の向上とチームワークを意識して活動しています。 部員は約40名で活動しており，初心者から経験者まで幅広く，和気あいあいとした雰囲気の中で楽しみながら過ごすことができます。また，一人ひとりが自分に合った目標を持った上で，全員が同じ目標を共有して努力することで，お互いを高め合いながら練習に励んでいます。

活動は，主に週４回の練習を中心に行っています。練習では，毎日素振りやステップなどの基礎技術の習得から始まり，サーブやクリアなどのさまざまな技術を段階的に学んでいます。それに加えて，試合形式の練習も行っているので，実践的なスキルを身に着けることもできています。また，今年度からは外部のコーチに来ていただいているおかげで，より一層有意義な練習ができるようになりました。

私たちは，毎年夏ごろに行われる「瀬戸内商船高等専門学校２校定期戦」や「全国高等専門学校体育大会」に向けて，一生懸命練習をしています。大会に参加することは，大きな目標になり技術を試す機会になるので，モチベーションを高めるきっかけになっています。

部活動で取り組むことによって，技だけでなく仲間との協力の大切さを学ぶこともできるのでこれからも目標にあった活動をつづけ，知識や愉しさを発見できるように部員みんなで活動していきたいと思います。

電子工作について

情報工学科　２年　**平松　夏々翔**

皆さんこんにちは。情報工学科２年の平松夏々翔です。今日は僕が趣味でしている電子工作についてお話したいと思います。

まず電子工作が何かを知らない人も多いと思います。電子工作は電子部品を使い回路を組み立てて自分でさまざまな装置やシステムを作り出すことをいいます。またプログラミングや３Ｄプリンターを駆使することによってさらに作れるものの幅が広がります。例えば家の鍵をスマホで開閉できるようにしたり，オリジナルのラジコンを作ったりなどアイデア次第で無限の可能性が広がっています。

そんな電子工作を始めたきっかけは小学６年生の頃に両親がクリスマスプレゼントにロボットカーを作るキットをプレゼントしてくれたことです。そのロボットカーを作っている時は時間を忘れてしまうほど楽しくそこからどんどん電子工作にハマっていきました。その後インターネットを使いプログラミングを習得したり，３Ｄプリンターを購入したりして多くの作品を作りました。そんな中，中学３年生のころに「全国小中学生プログラミングコンテスト」という大会にIoT技術を使い子亀の育成をサポートしてくれる「亀育成サポート機」という作品を応募しました。その結果グランプリを獲得することができました。このような経験から自分に自信がつき現在までたくさんのコンテストに応募し結果を残すことができました。今年は「ALL IN ONE BOTTLE」という一日飲んだ水の量をトラッキングしてくれるボトルを４カ月かけて開発しU22プログラミングコンテストに応募しました。電子工作の魅力は自分の「こんなものあったらいいな」などのアイデアを実際に作ることで形にできることだと思います。また自分の作ったものが上手く動くと，とても達成感があります。モノづくりやプログラミングが好きな方はぜひ電子工作に挑戦してみてください。

国立モンゴル科学技術大学での海外インターンシップ・国際交流2024

9月3日(火)～17日(火)，本校から4名の学生（電子機械工学科4年生1名，専攻科海上輸送システム工学専攻1年生3名）が，海外インターンシップ及び国際交流のためモンゴルのウランバートル市にある国立モンゴル科学技術大学・動力工学学校（Mongolian University of Science and Technology, School of Power Engineering），国立モンゴル科学技術大学・交通機械工学校（Mongolian University of Science and Technology, School of Mechanical Engineering and Transportation）を訪問しました。

学生たちは太陽光パネル，制御工学，モーターの出力，ディーゼル機関などの講義を受け，「ウランバートルの大気中の粒子状物質の濃度の測定」実験を行いました。

また，自然博物館，チンギスハーン博物館，チンギスハーン像テーマパークなどを見学し，モンゴル料理体験，大草原訪問などの文化交流も行いました。

海上輸送システム工学専攻
2年　岩部　悠紀

私は9月に13日間，モンゴル科学技術大学での海外インターンシップに参加しました。日本では猛暑の続く毎日でしたが，モンゴルでは日本よりも高い緯度ゆえの寒さと乾いた気候から少し早い冬を感じたことを今でも覚えています。この期間中，私は大学で再生可能エネルギーや制御工学についての講義の受講，モンゴル郊外でのP.M2.5の測定，石炭や太陽熱の研究を行っている研究所の見学などをさせていただきました。講義はほとんどが英語で行われ，理解に苦労するところも多く出てきました。しかし，英語で質問すると丁寧に教えていただけたため，先生方の温かみを感じました。

太陽光パネルを使った実験では「太陽光パネルの最も発電効率のよい角度は何度か？」をテーマに英語の資料を読みつつ，実験装置の組み立てからデータの取得までほとんど学生で行いました。インフラ整備の進んでいない郊外では実際に太陽光パネルを使った街灯が使用されており，大学の研究成果を見ることが出来ました。

放課後は地元の友人と一緒に伝統料理の食べられるレストランへ行きました。日本では見られないような肉料理や馬頭琴によるコンサートも体験することができ，モンゴルの文化を堪能することができました。休日には車で100km離れた田舎まで連れていっていただき，モンゴルの伝統的な住居であるゲルで実際の遊牧民の生活に触れることができました。馬や羊を車で誘導していたことがとても印象に残っています。

今回のインターンシップを通して，私は語学の重要性を改めて感じました。日本語が使えない状況で自分からコミュニケーションをとることは，とてもハードルが高いことでしたが，萎縮せず積極的に話すことで自身の英語力は確実に向上したと思います。今後，海外に行く機会があればこの経験を活かして様々なことを学びたいと思います。

現地の学生と食事会をした時の様子

再生可能エネルギーが専門の教授との記念写真

留学生紹介

情報工学科　３年

エンフトゥフシン バトボルド

モンゴルからの留学生，エンフトゥフシン バトボルドです。今年の11月で21歳になります。現在，情報工学科の３年生です。

私は高校を卒業した後，モンゴルの大学に進学し，そこで日本への留学を目指す準備を始めました。日本の文部科学省から奨学金をいただき，留学が決定した時はとても嬉しかったです。日本に来た１年目は東京の日本語学校で学びました。当初はひらがなしか知らなかったので，正直なところ不安もありました。しかし，少しずつ日本語が上達し，自信もついてきました。

その後，私は弓削島で学ぶことになりました。弓削島は都会とは違い，コンビニやカフェが少なく，鉄道もないため，移動は主にフェリーを利用することになります。最初は不便に感じましたが，ここで数か月を過ごすうちに，この場所の特別さを発見しました。実は，弓削島は国立公園の一部で，静かな自然，美しい海岸線，そして島の住民の温かさが際立っています。このような環境のおかげで，私は新しいライフスタイルを見つけ，リラックスして日々を過ごせるようになりました。

ここでの生活を通じて，先生や友達，先輩たちから多くのサポートを受け，感謝の気持ちでいっぱいです。あと３年間，この島で学びながら，さらに素晴らしい思い出を作りたいと思っています。そして，島のコミュニティに貢献し，良い影響を与えられる存在になれたらと思っています。

弓削島での経験は，これからの人生において忘れられないものになるでしょう。ここでの毎日を大切にし，これからも成長していくのが楽しみです。

４月に実施した花見の様子

情報工学科　３年

キルティガシニ　スンダル

私はキルティです。マレーシアから来ました。高校を卒業した後，政府から奨学金をもらい，日本に留学する機会を得ました。マレーシアで基礎的な日本語を１年半ぐらい学んだ後，今年の４月に日本へ来ました。たった１年しか経っていないですがかなり多くのことを学びました。

最初はとても寂しく感じましたが，多くの新しい友達ができうれしくなりました。サークルやクラブ活動，イベントなどを通じて，共通の趣味や興味を持つ仲間と交流することもできました。困った時に助けてくれた先生たちに本当にありがたく感じています。

弓削商船高専に入った後，高校生活とは異なり，自由度が高くなりました。しかし，その自由には責任も伴い，授業の出席や課題の提出，試験の準備など，自分で計画を立てて行動するようになりました。

高専生活は，多くの学びと成長の機会に満ちています。自由と責任を持ちながら，自分自身を見つめ直し，将来の目標に向かって進むための大切な時間です。この貴重な時期を最大限に活用し，充実した高専生活を送りたいです。これからの３年間も弓削商船高専で楽しく学びたいです。

LEADING EDGE 四国において２チームが採択

８月９日(金)，「LEADING　EDGE四国」最終選考会がコムズ松山で開催され，弓削商船高専より２チームがエントリーしました。

「LEADING　EDGE四国（未踏的な地方の若手人材発掘育成事業)」は，四国にゆかりのある，独創的なアイデアを持つ若者が，県内企業の課題解決に挑み，新規事業の創出を目指すプログラムです。

最終選考会には，中四国の高校，高専，大学より選考された10組が出場し，参加する地元企業が提示した課題（クエスト）を実現するための様々な新しい発想について，プレゼンテーションを行いました。発表者は，８分間の中でオリジナリティあふれる発表を行い，新規性や熱意など，４つの観点で評価され，最終選考の結果，６組が採択されました。そのうち，本校から出場した２チームが見事採択されました。

２チームの代表者は，９月上旬にマレーシア，シンガポールで海外研修を行い，その後，サポート企業と共に課題解決に取り組み，令和７年１月に最終報告会を実施する予定です。

LEADING　EDGE四国については，以下のホームページをご覧ください。

https://www.leadingedge-shikoku.com/

採択された２チーム

■チーム離島人材「MRデバイスとスターリンクを活用した航行支援システム」

田房蓮一郎（情報工学科３年），ENKHTUVSHIN BATBOLD（情報工学科３年），平松夏々翔（情報工学科２年），下見真生（専攻科生産システム工学専攻２年），小井川秀斗（専攻科生産システム工学専攻２年）

■平松夏々翔「Eco Sunshade」

平松夏々翔（情報工学科２年）

情報工学科　３年　**田房蓮一郎**

私たちは「～未踏的な地方の若手人材発掘育成事業～ LEADING EDGE 四国」にチーム離島人材として応募し，2024年度のクリエイターとして採択されました。これは，四国を代表する企業が未来に向けて本気で考えている課題（クエスト）に対して，応募者が提案したアイデアで解決に向けて取り組んでいくプログラムです。

BEMAC様が提示したクエスト「決して止まらない船を作る」に対して，私たちは「MRデバイスとスターリンクを活用した航行支援システム」というアイデアで解決に取り組んでいます。

本プログラムの一環で，マレーシアのマラヤ大学とシンガポール国立大学へ海外研修に行き，そこで取り組まれているスタートアップ企業の方のお話を聞くことができました。セメント不使用のサステナブルコンクリートの研究や，SNSのメッセージを読み取り，返信やスケジュール管理などを全て自動的にできる次世代型AIの開発など，未来がワクワクするものばかりでした。

また，その方々に自分たちのアイデアに対して評価やアドバイスをいただくために，英語でのピッチを３回行いました。しかし，初めてのピッチは苦い思い出となりました。拙い英語かつ，わかりにくい資料だったため，相手の方からは質問も意見も何もいただけませんでした。その日の夜は，引率の先生のご協力のもと，夜遅くまで資料と発表原稿の修正を行いました。その後のピッチはお世辞にも上手くできたとは言えないですが，原稿は頭の中に叩き込んで，相手との会話を大切にしながら行い，少しだけ意見をいただくことができました。

本プログラムへの参加は，自分の将来を見つめ直す良い機会になりました。世界には未来を変えるかもしれない，想像を超えるソリューションがたくさんあります。それらに自分が関わりたい，あるいは新たに生み出したいと思いました。

Ｓ５乗船実習

商船学科　５年　実習生　航海コース　**山﨑　希海**

商船学科は最終学年で座学を終えると，半年間海技教育機構の船に乗り実習を行います。新型コロナウイルスの影響で４年次にみなし遠洋航海しかできず，初めて外地に向かう遠洋航海に行きました。シンガポールの航海を通し様々な経験をし，たくさんの事を学びました。

シンガポール出港時には日本では経験できないスコールを体験しました。学校で学んだイメージでは数分間で止み，雨よりも風の方が強く，暖かい雨というイメージでしたが，実際には想像より降っている時間が長く，風よりも雨で，雨が肌に当たると冷たく痛かったです。

技術面では，往復約１ヶ月の航海でシングルワッチを経験しました。船内にいる200人の仲間の命を預かって航海しているという責任の大きさに押しつぶされそうになりました。将来働き出すとシングルワッチが始まり，実習生のときに感じた責任感以上のものが出てくると思いますがこの実践したことを糧に精進していきたいです。

船上生活では，満天の星空やイルカの群れが銀河丸についてきてくれる様子を目の当たりにして，頑張ろうと仲間と激励し合ったこともいい経験です。

最後に，この実習に携わって頂いた海技教育機構の士官の皆様，本当にありがとうございました。実習で出会った仲間，快く実習に行かせてくれた両親にも感謝しています。この実習で経験したことはこれからの船員生活において私の宝物です。

商船学科　５年　実習生　機関コース　**中神なつみ**

３月から９月までの６ヶ月間，機関系の実習生として日本－オーストラリア間の社船に実習生として参加させていただきました。

初めて友達と別れて乗船実習に参加することとなり，３月に乗船した時は不安が大きく，この先やっていけるのかと思う時もありました。

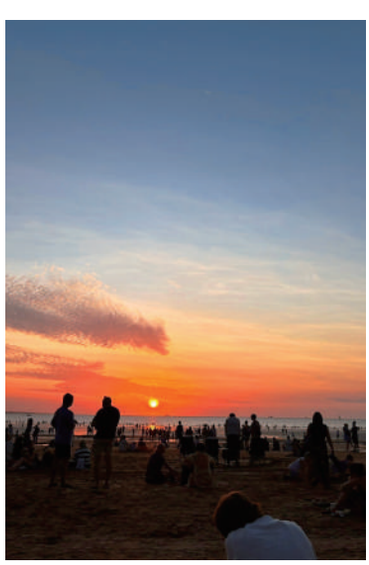
また，乗船して初めて機関室に行った時，暑さに絶望しました。体力のない私は作業途中，暑さにやられ見学となることもありました。

あまりの辛さと寂しさに同期や友達に泣き言を言うことも多かったです。

しかし，工具や機械に触れる機会が多かったこと，開放整備で各部の構造を直に見ることができたことで，自分で機関を整備するという楽しさを知ることができました。

また，キャプテンやインドネシアクルーが多くの催し物を準備して下さったり，天体観測では満天の星や南十字星を見ることができたりと，辛いことだけでなく楽しいことも沢山経験できました。

このように一日一日を過ごしているうちに機関室の暑さ・船内生活にも慣れ最後には実習生だけで発電機を起動できるようになるまでに成長し，無事実習を終えることができました。この乗船実習でできる事が増えたと思います。とても有意義な約６ヶ月間を過ごすことができました。本船で実習できたこと，とても有難く感じます。



実習を支えてくれた船員方，家族，友達，教官方には心から感謝申し上げます。

これからも弓削商船高専で学んだことを生かし，勉強を続けて立派な機関士になれるよう努力していきたいと思います。

令和６年度商船学科卒業式・専攻科（海上輸送システム工学専攻）修了式

９月21日(土)，令和６年度商船学科卒業式・専攻科（海上輸送システム工学専攻）修了式を挙行し，卒業生36名及び修了生２名に卒業証書・修了証書が授与されました。

今年度も，多くの来賓，保護者の方々のご臨席を賜り，盛大に卒業式・修了式を挙行することができました。

内田誠校長から「恵まれた環境の中で多くの友人・地域や産業界の方々と接し，学び，課外活動に精を出し，多くの発表会に参加し，自己向上を図ったことについて，各々が誰よりも高く誇りを持ち，その旨を積極的にアピールしてください」と式辞が述べられました。また，来賓の上村俊之上島町長，広重康成全日本船舶職員協会会長から祝辞をいただき，卒業生・修了生は引き締まった表情で聞き入っていました。

続いて，在校生総代の商船学科３年水野さくらさんが送辞を述べた後，卒業生総代の堀切匠さんから「私達は明日から社会という未知の大海原へと出航します。時には嵐に出会い，自分の引いたコースラインから外れることもあるかもしれません。しかし，そんな時こそ，ここにいる仲間と過ごしてきた５年半を思い出し，あと一歩踏ん張ってコースライン上に軌道修正し，目的地まで航海を続けていきたいと強く思います」と力強い答辞がありました。

最後に，卒業生一同が登檣礼（とうしょうれい）を実施し，「ごきげんよーう！」の掛け声とともに，全員の制帽が美しく宙を舞いました。

卒業生・修了生たちは穏やかな弓削の海に見守られながら，新しい人生航路へと出航しました。

令和６年度商船学科卒業生　各賞受賞者一覧

賞　　名	航海コース	機関コース
全日本船舶職員協会賞	秋　山　耕　一	阿　部　快　航
同窓会会長賞	長谷部　航　成	佐々木　李　莉
海技教育財団会長賞	堀　切　　匠	中　神　なつみ
日本船舶海洋工学会奨学褒賞	荒　木　かなえ	三　村　大　我
日本航海学会奨学褒賞	山　﨑　希　海	―
日本マリンエンジニアリング学会 優秀学生奨励賞「山下勇賞」	―	田　頭　佳　乃
精　　励　　賞	秋　山　耕　一	阿　部　快　航
	荒　木　かなえ	田　頭　佳　乃
	桒　田　将　渡	
	坂　上　　凜	
	長谷部　航　成	
	堀　切　　匠	

■体育功労賞

氏　　名	所属クラブ	活　　動　　成　　績
桒　田　将　渡	陸上競技部	第58回全国高等専門学校体育大会400m　出場 第57回全国高等専門学校体育大会4×400mR　出場 第57回全国高等専門学校体育大会4×100mR　出場 第57回全国高等専門学校体育大会400m　出場 第57回全国高等専門学校体育大会800m　出場 第56回全国高等専門学校体育大会4×400mR　出場 第56回全国高等専門学校体育大会4×100mR　出場 第56回全国高等専門学校体育大会400m　出場
中　神　なつみ	陸上競技部	第58回全国高等専門学校体育大会 マネージャー 第57回全国高等専門学校体育大会 マネージャー 第56回全国高等専門学校体育大会 マネージャー 第54回全国高等専門学校体育大会 マネージャー

令和６年度商船学科卒業生　就職・進学先一覧

■就職

旭タンカー株式会社	ECLシップマネージメント株式会社	井本商運株式会社
宇部興産海運株式会社	NX海運株式会社	オーシャントランス株式会社
岡本海運株式会社	海上保安学校	川崎近海汽船株式会社
神原汽船株式会社	近郵船舶管理株式会社	三興コントロール株式会社
四国開発フェリー株式会社	株式会社商船三井	菅原汽船株式会社
ダイハツディーゼル株式会社	株式会社筑豊製作所	鶴丸海運株式会社
東慶海運株式会社	浜崎海運株式会社	福寿船舶株式会社
ナカシマプロペラ株式会社	日本マリン株式会社	日本郵船株式会社
村岡汽船有限会社		

■進学

弓削商船高等専門学校専攻科		

令和６年度専攻科（海上輸送システム専攻）修了生　就職先一覧

福神汽船株式会社	日本海洋事業株式会社	

令和６年度専攻科（海上輸送システム工学専攻）入学式

10月１日(火)，令和６年度専攻科（海上輸送システム工学専攻）入学式を挙行し，４名の学生が入学しました。

式では，入学生による宣誓が行われ，その後，校長から，「技術者としての自己研鑽に励み，国際感覚を養い，高い知識と優れた技能・技術を有するバランス良い実践的技術者を目指してください。修学期間の２年間はあっという間ですので，計画的かつ精力的に取り組んでください。」と式辞がありました。

専攻科入学生は慣れ親しんだ学び舎で心機一転，新たな学生生活を始めました。

令和５年度電子機械工学科卒業生　就職・進学先一覧

■就職

株式会社アイチコーポレーション	アンデックス株式会社	株式会社イシダ
出光興産株式会社	大阪ガスネットワーク株式会社	関西電力送配電株式会社
株式会社キャステム	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	KDDIケーブルシップ株式会社
コニカミノルタジャパン株式会社	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	株式会社島津アクセス
新明和工業株式会社	株式会社スズキ販売愛媛　スズキアリーナ西条	住友化学株式会社
住友金属鉱山株式会社	ダイキンMRエンジニアリング株式会社	大洋電機株式会社
株式会社タウラスアルファ	日本オーチス・エレベータ株式会社	株式会社ボルテック
株式会社マツダE&T	三浦工業株式会社	三菱電機プラントエンジニアリング株式会社
村田機械株式会社	ムラテックCCS株式会社	メタウォーター株式会社
ヤンマーエネルギーシステム株式会社	株式会社ユーテック	四電エンジニアリング株式会社

■進学

千葉大学工学部	弓削商船高等専門学校専攻科	

令和５年度情報工学科卒業生　就職・進学先一覧

■就職

株式会社アルファシステムズ	NSウエスト株式会社	株式会社NTT-ME
NTTコムウェア株式会社	NTTコムエンジニアリング株式会社	大阪ガスネットワーク株式会社
大阪ガスマーケティング株式会社	関西電力送配電株式会社	株式会社キャステム
JFEスチール株式会社西日本製鉄所	セイコーエプソン株式会社	ダックシステム株式会社
株式会社タマディック	東芝ITサービス株式会社	日本原子力発電株式会社
株式会社日立アドバンストシステムズ	株式会社ひめぎんソフト	富士通株式会社
富士電機株式会社	ベストスキップ株式会社	三菱電機株式会社名古屋製作所
株式会社LIXIL		

■進学

九州大学経済学部	長岡技術科学大学工学部	弓削商船高等専門学校専攻科

令和５年度専攻科（生産システム工学専攻）修了生　就職・進学先一覧

■就職

NECネッツエスアイ株式会社	京セラコミュニケーションシステム株式会社	CTCテクノロジー株式会社
ダイキン工業株式会社	トーテックアメニティ株式会社	パナソニックインダストリー株式会社
富士電機株式会社	三菱重工機械システム株式会社	村田機械株式会社

■進学

長岡技術科学大学大学院工学研究科		

本田技研工業株式会社「次世代エンジニア育成支援講座」を開催

７月23日（火），本田技研工業株式会社「次世代エンジニア育成支援講座」が，本校の電子機械工学科４年生（Ｍ４）および情報工学科４年生（Ｉ４）を対象に開催され，学生82名と教員３名が受講しました。この講座は，2020年より本田技研工業株式会社の社会貢献活動プログラムとして実施されているもので，本校では初の開催となりました。

当日は，総務部社会貢献推進室の青木様，倉橋様，山田様，芦原様の４名がお越しくださいました。講義は，「製品開発の仕事とかける想い（青木様）」「生産技術開発エンジニアの仕事と伝えたい事（倉橋様）」「ホンダで働く高専卒業生から現役生へのアドバイス」の３テーマで行われ，製品開発や生産技術開発の現場で働くエンジニアの雰囲気を感じられる構成でした。本校のＭ４およびＩ４は，夏季休暇中にインターンシップに参加する学生が多いことから，真剣な表情で聞き入っていました。

「瀬戸内国際ヨットラリー2024」弓削島で参加者との交流を実施

「瀬戸内国際ヨットラリー 2024」（主催：一般社団法人長距離航海懇話会）が開催され，本校が立地する弓削島にも５月17日（金）から５月19日（日）まで寄港し，世界各国の参加者を本校学生が「おもてなし」しました。本イベントは，2019年以来の開催になります。

国内外の参加者計23名に対し，本校の学生37名が，自主的にウェルカムパーティーや島内でのバーベキュー，昼食会等の「おもてなし」を企画・立案し，３日間にわたり交流を深めました。

また，今回は，セーリング世界一周を達成された日本人女性，尾崎香代さんがラリーに参加されていることから，寄港中，特別に本校で講演会を実施しました。実施後の学生アンケートでも「将来の役に立つと思う」「次回も参加したい」など好意的な意見がほとんどでした。

本取り組みは，KOSEN4.0プロジェクトの地域と学生達の関わりを深めていく地域創生演習の一環として，上島町と連携して実施する事業です。本校は今後も離島の特性を踏まえ，離島工学に基づく防災・減災に精通したIoT技術者の育成に取り組んで参ります。

公開講座「第１回バスケットボール教室」を開催

６月16日（日）に公開講座「第１回バスケットボール教室」を開催し，近隣の小学校より15名の参加がありました。今年度初めての「バスケットボール教室」は，本校のバスケットボール部員５名の協力もあり，活気と笑顔溢れる教室となりました。

講座では，まず講師より，バスケットボールで元気になるために，「楽しむ」「仲間とつながる」「チャレンジ」をテーマにお話がありました。

その後チームに分かれ，コミュニケーションを取り合うために自己紹介をし，整列競争やドリブル鬼ごっこなどをしました。ボールを使ってのリレーでは，ボールを２つ重ねて運んだり，ジャグリングをしながらパスを出したり，チームでドリブルの速さを競争したりと，ボールコントロールを意識しながら様々な練習に挑戦しました。

講師や学生にコツを教わりながら，ドリブル，パス，シュートの練習をし，最後に練習試合を行いました。声を掛け合いパスやドリブルでボールを繋ぎ，最初にはなかった結束力が生まれ，講座を通して仲間との繋がりを学びました。

参加者からは，「パスや，ドリブルが上手くできた」「みんなと楽しくできてうれしかった　また行きたいです」などの感想が寄せられました。

各種試験合格者一覧

（学年は取得時）

◆海技士（航海）１級
西田勝太郎（Ｓ５）

◆海技士（航海）２級
金光　学史（海上２）　穴山　喜一（Ｓ４）
増田　恭成（Ｓ４）　庄司宗太郎（Ｓ３）

◆海技士（機関）２級
香西　海児（Ｓ４）　山本　磨寛（Ｓ４）

◆Ｐ検準２級
金倉　功樹（Ｉ１）

◆ＩＴパスポート試験
西山　香与（Ｉ４）　松田　柚鈴（Ｉ２）

◆情報処理技術者試験
西山　香与（Ｉ４）

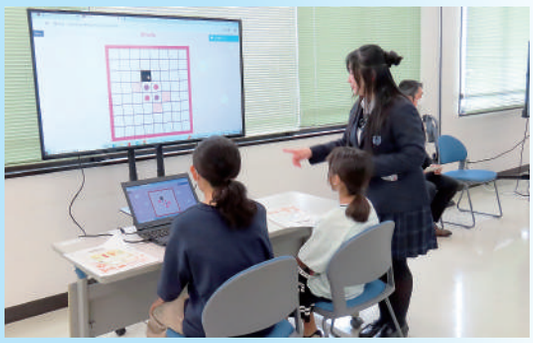
◆情報セキュリティマネジメント試験
田房蓮一郎（Ｉ３）

各種行事等のアルバム

身だしなみ講習会

商船高専生のための仕事研究セミナー

校内体育大会（バスケット）


チャレンジキャンパス

サイクリングしまなみ応援隊認定書交付式

学寮の様子

学生相談室

学生相談室だよりを発行し，学校ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

相談員紹介

学生の皆さんの学校生活･進路実現をサポートするため，本校には「学生相談室」が置かれています。お子さまが困っていそうでしたら，ぜひ学生相談室をお勧めください。

学生相談室では，身近な教員をはじめ，学生相談の経験者や有資格者が相談に応じています。

伊藤 武志	学生相談室長・総合教育科教員
中村 真澄	商船学科教員
桝田 温子	情報工学科教員
要 弥由美	総合教育科教員
向井 利夫	技術職員
若松 純子	看護師

活動

	対　象	内　　容
入学時相談	希望する学生 保護者	入学後の学校生活について，事前に相談に応じています。
相　　談	希望する学生 保護者	家庭生活や学業，友人関係，精神的健康等に関して相談に応じます。
アンケート	全学生	学校生活の困り感について全体的に把握するために実施します。
研修相談室だより	全学生	いじめ防止や精神的健康の促進のために研修や，相談室だよりによる情報発信を行います。
オンライン面談	希望する学生 保護者	必要に応じて，オンライン上で相談に応じます。